

いのち いっぱい「今」を
生きる

第1次案内

つながり合い
学び合う

子どもたちと

希望ある学校を!



第71次東京教研集会

みんなで語り合う教育のつどい

全体会

2021年
10月29日(金)
開場 18:00 / 開会 18:30
《会場》大田区アプリコ小ホール

●講演 **副島 賢和さん**
赤はな先生と院内学級の子どもたち
～学ぶことは生きること～

分科会

2022年
《A会場》港区立港南小学校
1月29(土)・30(日)日
《B会場》エデュカス東京
1月10日～2月13日まで日程を分散して開催

- ◆全体会は現地参加(定員80名※都合により変更有)・オンライン(定員500名)参加、両方可。
- ◆分科会は一部オンライン可。
- ◆事前の申込をお願いします。
申込〆切・全体会:10月28日
分科会:各開催日の2日前
- ◆参加費無料。



病気による困難を抱えた子どもたちは、感情と関係性を失い「自分は自分のままでいい」という気持ちをもてないといいます・・・そんな子どもたちによりそい、向き合ってきた副島さんは、「学ぶことは生きること」と言います。学校で、家庭で、地域で、子どもたちが「今」を笑顔で過ごすためのヒントを探しませんか？

【お問い合わせ】都教組 03-3230-3891

◆そえじま まさかずさん◆ 昭和大学大学院保健医療学研究科 准教授。昭和大学附属病院内学級担当。大学卒業後、25年間、東京都の公立小学に教諭として勤務。2006年より品川区立清水台小学校・昭和大学病院内「さいかち学級」を担当。2014年より現職。学校心理士スーパーバイザー、ホスピタルクラウンとしても活動。09年、ドラマ『赤鼻のセンセイ』(日本テレビ)のモチーフとなる。11年に『プロフェッショナル仕事の流儀』(NHK 総合)、20年にNPO法人YourSchoolによるYouTubeチャンネル「あかはなそえじ・風のたより」に出演。著書「はなれていてもだいじょうぶー今こそ伝えたい、院内学級で教員として学んだこと(教育ジャーナル選書)」(学研)「あのね、ほんとうはね 言葉の向こうの子どもの気持ち」(へるす出版)他多数。

【主催】 第71次東京教研
実行委員会

東京都教職員組合
東京都障害児学校教職員組合
東京私立学校教職員組合連合

【協賛】 大田子どもの教育連絡会 / 大田退職教職員の会 / PCRコロナの会 / 新婦人の会大田支部 / 新婦人の会港支部 / 港区の教育を考える会 / 新婦人の会中央支部 / 子どもと教育九条の会品川 / 新婦人の会品川支部